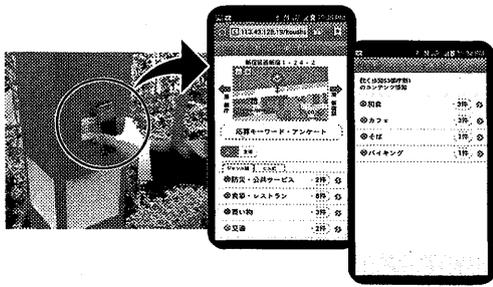


# 東京都、都道路整備保全公社 都道を情報発信拠点に

東京都と東京都道路整備保全公社は、都道の点検に利用しているICタグを使い、一般歩行者に周辺の情報などを伝える取り組みに乗り出す。多機能携帯電話（スマートフォン）を歩道上の街路灯などに設置されたICタグにかざすと、周辺の店舗位置情報などを入手できるよつにする。将来的に道路が多様な情報発信拠点になる「スマートストリート」として進化させたい考えだ。



道路上でのICタグの一般利用イメージ

## ICタグ利用を多目的化 店舗情報など提供 新宿で実証試験

ICタグを先行導入している新宿地区（新宿区）の都道で歩行者向けの実証試験を26日まで行っている。周辺にある店舗や災害時避難場所の位置情報をスマートフォンを通じて提供する。新宿駅西口〜都庁舎間（延長約650㍎）をほぼ直線で結ぶ新宿副都心4号線の歩道にICタグを34カ所設置している。

実証試験はICタグに盛り込まれた位置特定情報の読み取り機能がある最新のスマートフォンを持つていれば誰でも参加できる。試験中はこの機能があるスマートフォン

都と公社は、実施試験の利用者の数や感想などを踏まえ、今回の取り組みの拡大に向けた課題を整理する。将来的に西新宿以外の都道への普及を目指す。

都と公社は13年度から道路点検業務にICタグを本格的に利用し始めた。専用タブレットをICタグにかざせばその場でチェック項目が表示されて入力できるため、手書き作業だったころより、手間が省けてミスも減る効果がここ数年の実証試験で明らかになったという。

IT技術の活用により道路維持管理の高度化が見通しがついた。さらに多様な情報発信拠点として道路の機能を高めよつと、スマートフォン

の普及をにらみ、ICタグを一般利用できるようにした。生活サービスの向上だけでなく、災害時の初動避難態勢も強化できるとみている。

オンの貸し出しも行う。

### 【建設ICT】

- |          |          |          |
|----------|----------|----------|
| 1. 日経    | 2. 朝日    | 3. 毎日    |
| 4. 読売    | 5. 岐阜    | 6. 中日    |
| 7. 産経    | 8. 静岡    | 9. 伊勢    |
| 10. 中部経済 | 11. 建通   | 12. 日刊工業 |
| 13. 建設通信 | 14. 信濃毎日 | 15. 日本海事 |
| ⑩ 建設工業   |          |          |

平成25年 5月 7日 ((朝)・夕) P 4

建設工業新聞